

### 第3回高尾グリーン センター森づくり体験研修会事業報告書

主催者—(公益社) 日本山岳会埼玉支部-自然保護委員会

開催年月日— 平成29年4月29日(土)・30日(日)

開催場所— 高尾グリーンセンター(八王子市南浅川町) 及び隣接国有地

参加者—自然保護委員会—高嶋徳紘・龍 久仁人・藤野欣也・渡邊嘉也・小池鉄男・

多田稔・村越百合子・石塚 昌孝・朝日守、すかんぼの会-太田和子・奈良菊江

グリーン倶楽部会員—加藤信夫・宮田由香里・城定睦 計14名

#### ・29日午前—樹齢50年生の檜林の間伐研修

グリーン倶楽部から軍手・ヘルメット・鋸・鉋が貸与され10時30分開会式、高嶋自然保護委員長開会挨拶、龍グリーン倶楽部代表から研修内容説明の後、間伐研修に入る。センター西側の樹齢50年近くの檜林の間伐作業現場に移動、小池班・加藤班に分かれ研修作業を実施した。

#### ・29日午後—西尾根に至る径づくり研修

先頭が大鎌で草木を切り払う、トビで枯木・石などの障害物を取り除く、次に径づくり用の分厚く重い鋏で径の形を造る、最後に、長鋏で弦・小枝など障害物を取り除く。

#### ・夕食は屋外のバーベキューコーナーで

恒例のバーベキューが始まる。プロの加藤シェフの料理に満たされ、ビール酒がすすみ、皆が談笑のひと時を過ごす。

#### ・30日午前—檜林に繁茂するアオキ刈り取り研修

センターの前を通る、三沢峠に至る関東ふれあいの道沿いの右斜面に広がる、アオキの刈り取りを横一列に並び斜面を登りながら、手鋸・鉋・大鎌を使い刈り取った。

#### ・30日午前～午後—南高尾自然観察会

観察会コースは、センターから三沢峠に至る関東ふれあいの道の右側の稜線を西山峠に至り昼食とし、そこから三沢峠に向い、関東ふれあいの道を下りセンターに下山するコースで行われた。南高尾植物HPには自生する植物の種類が1600を超える数が確認され、その数はイギリス全土で自生する種類の数に匹敵するとある。高尾山で最初に発見された植物も多く、その数はタカオスマレ、タカオヒゴダイなど60数種類とあるが、当日の観察会で、観察担当-村越の記録にはコクサギ、スマレ、フデリンドウ、ウラシマソウ、ナルコユリ、クサイチゴ、シャガ、トウゴクサバノオ、ヒメコウゾ、ヤマルリソウ、サルトリイバラ、チゴユリ・・・、限られた時間で50種近い数にのぼっている。

巨大都市東京の奇跡と云える「緑のオワシス」を守るため、森づくりに汗を流し、類まれな高尾の自然観察を今後も続ける事としたい。15時解散

